

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名： 岐阜県トップアスリート出前指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域スポーツ係
電話番号：058-272-1111 (内 2955)
E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,101千円 (前年度予算額：2,335千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,335	0	0	0	0	0	0	0	2,335
要求額	2,101	0	0	0	0	0	0	0	2,101
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・県は、「清流の国ぎふスポーツ推進計画」において「スタッフ・指導者不足の解消」を図り、併せて「学校における体力づくりの推進」を目指している。
- ・現状は、競技力向上を目的としたトップアスリートによる技術指導教室に係る支援事業のみがある。
- ・子どもの体力づくりの普及指導講座については、事業化されていないため、拠点クラブの日程や経費面の都合により実施されない場合があった。
- ・拠点クラブ側の講師派遣経費を支援することにより、開催意欲の向上及び講座回数の増加を図る。
- ・また、児童がアスリートから直接体の動かし方を指導される機会が増えることは、スポーツに対する意欲、興味を高め、体力づくりを図ることができ、スポーツ実施率の向上に繋がる。

(2) 事業内容

学校の体育・保健体育授業、部活動、学校行事、またはスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等の活動場所に、指導者を講師として派遣し、各種スポーツの模範演技及び技術指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,101	指導者謝金、補助スタッフ謝金等
合計	2,101	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

事業評価調査書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか。

県内の多くの子どもたちに、世界や日本のトップで戦っているトップアスリート（過去に戦っていた指導者も含む）のパフォーマンスを見せること、指導をすることで、スポーツに対する意欲・関心を高める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目 標	達成率
トップアスリート出前 指導実施数	回 (H)	173 回 (H29)	162 回 (H30)	138 回 (R1)	180 回 (R3)	76.7 %
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	

○指標を設定することができない場合の理由

--

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

138回（小学校128回、県立学校5回、スポ少2回、総合型3回）の指導を行い、指導者がそれぞれの実態に合わせて効率よく指導を行うことができた。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

トップアスリートの指導により、子どもたちや地域の方々がスポーツの楽しさを味わい、運動に親しむ習慣を身に付けたり、技術の向上を目指したりすることができた。スポーツの楽しさ、運動ができる喜びを実感することは、生涯にわたりスポーツに関わりを持ち、スポーツに親しむ生活を送ることに繋がるため、本事業を実施する意義は大きい。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>県内の多くの子どもたちがトップアスリートから指導を受けたり、パフォーマンスを見たりすることは、子どもたちに感動を与え、スポーツに関わることの意義や、自分の今後のスポーツに対する考え方を前向きにすることができる。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>毎年希望団体が格段に増えている。 県からの事業の案内は、上期、下期の2回している。リピーターだけでなく、その近隣団体からも申し込みが急増していることから、良い評判が広まっている。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>指導技術の向上により、受講者がより満足できる内容となっている。 指導者がトップアスリートの指導を目の当たりにすることにより、日常の指導者の指導技術の向上につながっている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>団体（学校等）のニーズは今後も高く推移すると予想されるが、指導者を派遣するクラブ側の時間的な負担や人力的な負担を考慮すると、今後も今年度レベルの実施数を保ち、継続的に事業を行っていくことが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>今後もトップアスリートが多くの小中学校で指導を継続して行い、児童生徒のスポーツに対する意欲を高め、体力向上を図り、スポーツ実施率の向上に繋げていく。教員向けの指導法研修会等へのアスリート派遣も検討する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>—</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>—</p>